

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	5. 交流拠点の創出	
分野別方針	(1) 交流ゾーンの検討		実施計画事業	東大跡地の検討 (No.62)	
予算等事業名	まちづくり総合調整事業(跡地利用検討委員会)				
目的	東京大学二宮果樹園跡地の利活用に対し、平成24年度に設置した検討委員会において、将来土地利用構想及び暫定利用を検討する。 また、土地利用決定までの維持管理方法等についても併せて検討する。				
内容	町が所有する土地の利活用について検討及び定住促進対策を含むまちづくりに関する総合調整を行う				
根拠法令・条例等	-				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	検討委員会の開催 3回(平成25年4月26日・平成25年7月12日・平成25年12月16日)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	-				
前期(27年度)目標値	-				
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	・暫定的な土地利用 ・将来土地利用の構想	
	検討委員会による検討				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		210	208				
財源内訳	一般財源	210	208				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 未利用町有地の計画策定を町として実施する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町を主体として検討委員会等で検討を行っている。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 暫定的な利用として貸付の方向性を示している。将来計画は今後、検討を行う。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 検討委員会での検討を行っており、会議出席報酬がメインであることから、効率的である。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 暫定的な土地利用として土地の貸出の方向性が定まっており、今後は将来利用に向けた検討を行う予定となっている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定的な土地利用としての貸出は方向性が決定 ・貸出部分以外の維持管理については課題となる ・将来的な土地利用方法については平成26年度を目途に方向性を示す 	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	平成25年度までに7回の検討委員会を開催したが、将来利用についての議論は深まっていない。将来利用の方向性を示し、結論を出す必要がある。
今後の方向性	町の課題を整理し、将来における人口予測、財政シミュレーションなど、多角的な検討を行うために、外部民間シンクタンクにも協力を得ながら、将来利用方法の方向性を示す。